

令和 8 年度管理区域用ゴム手袋

売買単価契約

仕 様 書

## 1. 件 名

令和 8 年度管理区域用ゴム手袋売買単価契約

## 2. 目 的

本件は、経済産業省より交付を受けた「放射性物質研究拠点施設等運営事業費補助金」事業の一環として、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下、「機構」という。）が整備する放射性物質分析・研究施設第 1 棟（以下、「第 1 棟」という。）において使用される管理区域用ゴム手袋の売買単価契約を締結し、第 1 棟の円滑な運用を図るものである。

## 3. 仕 様

### (1) 購入品目及び数量

- ・別紙のとおり。
- ・最少発注単位数は、別紙品目毎の単位とする。
- ・但し、数量は年間予定発注数量であり、発注数量に増減が生じた場合でも異議を申し立てないこととする。

### (2) 仕 様

別紙及び下記の条件を満たす物品であること。

- ・機構より指示があった場合、物品の焼却時に発生する有害ガスの発生量に関する試験報告書を提出できること。
- ・国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成 12 年 5 月 31 日法律第 100 号）第 6 条第 1 項の規定に基づき、定められた環境物品等の調達の推進に関する基本方針による基準を満たしていること。

## 4. 納入場所及び納入条件

### (1) 納入場所

福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原 5 番地

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

福島廃炉安全工学研究所

大熊分析・研究センター 第 1 棟

※第 1 棟の敷地は東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所敷地内にあり、帰還困難区域になっている。帰還困難区域への入域の手続きについては、別途、原子力機構担当者へ問い合わせ、確認を行うこと。

### (2) 納入条件

- ・東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の従事者登録を行い、第 1 棟まで車で納入が可能であることとする。

- ・契約期間中、機構の発注指示に基づき、指定場所に持ち込み検査を受けるものとする。
- ・商品は袋の状態で納入することとする。
- ・但し、袋の状態で運搬が困難な場合は、機構担当者へ問い合わせ、確認を行うこと。

**5. 契約期間**

令和8年4月1日から令和9年3月31日

**6. 納入期限**

機構からの発注指示書による納入期限とする。発注予定スケジュールは別紙を参照すること。

**7. 検査箇所**

納入地管財箇所

**8. 検収条件**

検査箇所による検査（員数、外観、規格）の合格をもって検収とする。

**9. 支払条件**

検査合格後、機構の支払い条件により支払う。

**10. その他**

- (1) 原子力機構が、受注者に対し本補助金事業の適正な遂行のため必要な調査に協力を求めた場合にはその求めに応じること。
- (2) 本仕様書に定めのない事項及び疑義の生じた場合は、機構と協議のうえ、決定するものとする。

以 上

## ゴム手袋 仕様詳細

### 1. 適用 JIS

JIS Z 4810（放射性汚染防護用ゴム手袋）

JIS Z 4810 及び関連 JIS 等はその最新版（追補を含む）を適用する。

<関連 JIS>

JIS K 6250 ゴム，物理試験方法通則

JIS K 6251 加硫ゴムの引張試験方法

JIS K 6252 加硫ゴムの引裂試験方法

JIS K 6257 加硫ゴムの老化試験試験方法

JIS K 6258 加硫ゴムの浸せき試験方法

JIS K 9015 計数調整型抜取検査（供給者を選択できる場合の購入検査）

### 2. 仕様

#### A) 種類

手袋の種類は S サイズ（呼び番号 7.5）M サイズ（呼び番号 8.0）・L サイズ（呼び番号 8.5）・L L サイズ（呼び番号 9.0）とする。

#### B) 形状

形状 C 曲指形手袋

#### C) 主材料

手袋の主材料は，天然ゴムラテックスを主材料とする。

#### D) 副材料

- ・手袋の脱着を容易にするため，表面処理剤，滑材または打粉を使用する。
- ・着色剤を使用する場合は，安全なものでなければならない。
- ・表面処理剤として使用する材料は，生体に害のないものを使用し，必要に応じてその材料を表示しなければならない。なお，焼却時に発生する有害ガスの発生量等は下図に示す基準値以下とする。

## 焼却時に発生する有害ガスの発生量等

試験項目	放射性汚染防護用ゴム手袋
リン (P)	0.03%以下 (300ppm)
フッ素 (F)	検出限界以下
臭素 (Br)	検出限界以下
鉛 (Pb)	検出限界以下
亜鉛 (Zn)	0.7%以下 (7000ppm)
ケイ素 (Si)	0.02%以下 (200ppm)
塩化水素 (HCl)	0.01%以下 (100ppm)
硫黄酸化物 (SOX) (SO <sub>2</sub> 換算)	1.80%以下
窒素酸化物 (NOX) (NO <sub>2</sub> 換算)	0.60%以下
灰 分	3.00%以下

## E) 寸法 (単位: mm)

サイズ	S	M	L	LL
掌部の幅	95±5	102±6	108±6	114±6
長さ	270～290	270～290	280～300	280～300
掌部の厚さ	0.20～0.35			
手首末端部の厚さ	0.20～0.35			

注1: 掌部の幅とは平らな面において押さえた状態で掌部の指方向に直角の寸法をいう。

注2: 長さとは中指の先端から手袋の下端までをいう。

注3: 厚さとは掌側の中指の先端から15 mm 内側、掌部中央付近、手首の末端部から25 mm 内側をいう。

## F) サイズ表示および左右の区別

左右の区別をわかりやすく表示し、サイズを見やすく表示すること。

## 3. 構造及び外観

- A) 手袋は5本指形とし、肉厚は均一で、きず、穴、気泡、はん点、汚れ、異物の混入その他使用上有害な欠点がないこと。

- B) 手袋の手首の末端部は、ロール状に補強されているか、これと同等の補強手段がとられていること。
- C) 手袋は表面仕上げによって一部または全面が粗面の手袋とすること。

#### 4. 性能

##### A) 引張強さおよび切断時伸び

5.C). c の方法で試験した結果、次の値に適合しなければならない。

引張強さおよび切断時伸び

引張強さ MPa	切断時の伸び %
23 以上	700 以上

##### B) 老化時の引張強さおよび切断時伸び

5.C). d の方法で試験した結果、次の値に適合しなければならない。

老化時の引張強さおよび切断時伸び

引張強さ MPa	切断時の伸び %
17 以上	560 以上

##### C) 薬品浸せき後の引張強さおよび切断時伸び

5.C). e の方法で試験した結果、次の値に適合しなければならない。

薬品浸せき後の引張強さおよび切断時伸び

薬品名	引張強さ MPa	切断時の伸び %
10%塩酸	19.6 以上	600 以上
10%水酸化ナトリウム溶液		

##### D) 引裂強さ

5.D)の方法で試験したとき、590 N/cm 以上でなければならない。

##### E) ピンホール

5.E)の方法で試験したとき、次の表に適合しなければならない。

検査水準及びAQL

項 目	検査水準	AQL
ピンホール（水密性）	G-1	1.5

## 5. 試験方法

## A) 試験項目

手袋の試験項目は、次の通りとする。

- a. 構造・外観試験
- b. 引張試験
- c. 引裂試験
- d. ピンホール試験（水密性試験）

## B) 構造・外観試験

構造及び外観は、目視によって全数を調べる。

## C) 引張試験

## a. 試験片

b. cおよびdに用いる試験片は、未使用の手袋を中指の先端部、掌部又は手首部から採取するものとし、JIS K 6251 に規定するダンベル状3号形試験片又は6号形試験片とする。

## b. 試験の一般的条件

試験の一般的条件はJIS K 6250 による。

## c. 引張強さ及び切断時伸び

JIS K 6251 に規定する方法によって測定する。

## d. 老化後の引張強さ及び切断時伸び

JIS K 6257 に規定する方法によって測定する。

## e. 薬品浸せき試験

JIS K 6258 に規定する方法に従って、試験片を次の表に示す薬品毎の試験条件で浸せきした後、これを取り出し水洗いし、軽くふき取って直ちにbに規定する方法と同じ方法で引張強さ及び切断時伸びを測定する。

## 薬品浸せき試験

薬品名	温 度 ℃	浸せき時間 h
10%塩酸	23±2	48
10%水酸化ナトリウム溶液		

## D) 引裂試験

JIS K 6252 に規定する方法によって、クレセント形を用いて引裂強さを測定する。

## E) ピンホール試験（水密製試験）

## a. 装置・器具

装置・器具は次による。

- (a) 内径約 50 mm, 外形約 60 mm, 長さ約 400 mm の筒

- (b) 手袋と筒とを固定するための締め具
- (c) 手袋内部に水が満たされたとき、それを垂直に保持するためのつり下げ具
- (d) メスシリンダー

b. 試験方法

試験方法は、次による。

- (a) 手袋のそで部開口部分を上向きにし、そこに筒を取り付け金具でしっかりと固定する。ただし、手袋のそで口から 40 mm までを筒に取り付ける。
- (b) (a)の状態を保持できるように、つり下げ具に取り付ける。
- (c) 筒上方からメスシリンダーで測った水 1000 cm<sup>3</sup>を手袋内に満たす。
- (d) 室温において、そのまま2分間経過したとき、手袋からの水漏れの有無を目視によって調べる。

備考1. ピンホールを目視検出を容易にするために、手袋の材質を損なわないような染料を水に溶解しても良い。

備考2. 手袋の小さいサイズの試験の場合には、手袋内に水が満たされた状態の時は、筒内に水が残っても良い。



## 各品目の予定数量等

No.	品名	規格	相当品	単位	最小発注 単位数	年間予定 発注数量	納期
1	ゴム手袋 7.5 インチ	プロテックス手袋 三興化学工業（株）製	可	双	50	5500	90 日
2	ゴム手袋 8.0 インチ	安全作業用うすゴム手袋 三興化学工業（株）製	可	双	1000	20000	90 日
3	ゴム手袋 8.5 インチ	安全作業用うすゴム手袋 三興化学工業（株）製	可	双	1000	16000	90 日
4	ゴム手袋 9.0 インチ	安全作業用うすゴム手袋 三興化学工業（株）製	可	双	1000	3000	90 日

## 予定発注スケジュール

No.	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1	1500			1500			1250			1250		
2	5000			5000			5000			5000		
3	4000			4000			4000			4000		
4	1000			1000			1000					